城西大学 sports
箱根駅伝報告号
JOSAI UNIVERSITY JU
2015年1月 vol.19
城西大学の題字は創立者・水田三喜男先生
発行所：〒350-0295　埼玉県坂戸市けやき台 1-1　城西大学

第91回箱根駅伝

意地見せた！総合7位シード奪還!!!

城西大歴代最高記録

城西大学の歴代最高記録で7位入賞、3年ぶり3回目のシード権獲得――第91回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）は1月2、3日に行われた。12年連続12回目の出場となった男子駅伝部は、2区・村山紘太主将（経営4）の8人抜きの快走や最終10区・寺田博英（経営4）の区間賞の力走などで7位に入り、昨年19位のリベンジを果たした。総合成績の11時間8分15秒は、88回大会の記録を2分2秒縮める城西大学歴代最高記録だった。創立50周年を迎えた本学の年初の一大イベントで、またとない好スタートを切ることができた。　【吉田美咲】

村山８人抜き　寺田は区間賞

往路はハイペースが予想された。1区に起用されたのは昨年11月の記録会で好タイムを出した松村陣之助（経営2）。序盤から優勝候補の駒沢大、東洋大、明大、青山学院大が主導権を取った。松村は第一集団から遅れるもののエース村山紘太（経営4）へ襷（たすき）をしっかりつないだ。村山は大会前に膝を痛めていた。多くのレースを走ってきた村山の足は限界を迎えていたようだ。だが、「箱根駅伝は、大学やチームに恩返しができる場所。是が非でも結果を残したい」と特別な思いを胸に、途中苦しい表情を見せたものの8人を抜き去り、シード圏内の8位にまで順位を押し上げた。注目されていた兄・村山謙太（駒沢大）との兄弟対決にも勝つ区間2位の走りだった。

3区は昨年と同じく横田良輔（経営4）。一般企業に就職する横田の集大成の走りで順位を一つ上げた。4区・山本雄大（経営3）は1年時の関東インカレ1500㍍で表彰台にのぼり、4区を走った。今回は区間18位に終わったが、経験は今後につながるだろう。山登りの5区の菊地聡之（経営2）は昨年6区で区間6位の走りをした。今回は区間9位で山に強いところを見せた。

復路は一斉スタートとなった。初出場の西岡喬介（経営3）は集団から離れずきっちりと下り、9位で同じく初登場の室井勇吾（経営3）につないだ。室井は序盤から攻めて区間6位の力走。横田と同様、ラストランとなる黒川遼（経営4）に襷が渡る。今シーズンあまり結果が出せず、涙を見せることもあった黒川の粘りは後輩の目に焼き付いたことだろう。9区は1年生ながら今シーズン活躍してきた菅真大（経営1）。裏の2区とも呼ばれるコースを淡々と走り襷をつないだ。最終区間10区を走るのは寺田博英（経営4）。寺田は大会前、調子が上がらずフォーム改善を考えた。しかし、思うようにいかず調子を落とした。「調子が悪かった分、何も考えずに走ろうと思った」という。一斉スタートだったため、目に見えない順位争いだったが、2チームを抜いて大手町にやってきた。寺田は「区間賞なんて考えてもいなかった。いつ自分がペースダウンするのかと思って走っていた」と喜びよりも驚きの声を上げた。

大手町は彼らの笑顔にあふれた。4年生が見せた意地は沿道、視聴者に感動を与えるほど素晴らしかった。3年生以下の選手には来年も箱根路が約束された。今回走った選手の経験は大きい。シード権の獲得とともに出雲駅伝への出場も決まった。もう一つの全日本大学駅伝への出場権獲得と合わせ、新チームでのさらなる飛躍を期待したい。

ゴール直後の寺田を受け止める村山（左）と横田（右）＝陸上競技社提供

総合成績

総合7位（11時間08分15秒）
《往路》8位（5時間35分09秒）
《復路》7位（5時間33分06秒）

オーダー	区間順位（記録）	通算順位
1区　松村陣之助（経営2）	16位（1時間03分51秒）	16位
2区　村山　紘太（経営4）	2位（1時間07分43秒）	8位
3区　横田　良輔（経営4）	10位（1時間04分04秒）	7位
4区　山本　雄大（経営3）	18位（　57分51秒）	8位
5区　菊地　聡之（経営2）	9位（1時間21分40秒）	8位
6区　西岡　喬介（経営3）	10位（1時間00分27秒）	9位
7区　室井　勇吾（経営3）	6位（1時間04分29秒）	9位
8区　黒川　遼（経営4）	12位（1時間06分53秒）	9位
9区　菅　真大（経営1）	15位（1時間11分16秒）	9位
10区　寺田　博英（経営4）	1位（1時間10分01秒）	7位

歴代成績

第80回	総合19位	11時間42分15秒
第81回	総合15位	11時間22分49秒
第82回	総合11位	11時間16分10秒
第83回	総合11位	11時間20分50秒
第84回	総合11位	11時間20分19秒
第85回	途中棄権	
第86回	総合６位	11時間17分53秒
第87回	総合11位	11時間13分26秒
第88回	総合６位	11時間10分17秒
第89回	途中棄権	
第90回	総合19位	11時間25分42秒
第91回	総合７位	11時間 ８分15秒

区間賞の走りを見せ、総合７位でゴールテープを切る寺田＝陸上競技社提供

▲報告会で喜びを爆発させる部員たち

輝く汗 黄色の襷 次代へつなぐ

■1区・松村陣之助（経営2）

今回は1区という重要な区間を走らせてもらった。タイム自体は悪くはなかったが、区間16位という悔いが残った。これからスタミナをつけていき、来年1区でリベンジしたい。

■3区・横田良輔（経営4）

たくさんの人に応援してもらい、本当に多くの人たちの支えがあり、ここまで来ることができた。そんな人たちに出会えて本当に幸せです。この4年間は本当に最高でした。応援ありがとうございました！

■4区・山本雄大（経営3）

個人的なことで言えば反省する点は多いが、チームとしてシード権を獲得できたことは良かった。沿道からの応援も力になった。来年も出場できる権利を得たが、気を抜かずより一層努力していきたい。

■5区・菊地聡之（経営2）

今回シード権を獲得できたことはとてもうれしいが、個人的には悔いが残った。腹痛やけいれん、少しながら低体温に見舞われて、稼ぐどころか後続との差を詰められてしまった。最後まで紘太さん頼みになってしまったことが、なにより悔しかった。来年は紘太さんがいなくてもシード権が取れるよう質の高い選手を目指したい。

■6区・西岡喬介（経営3）

区間10位とチームの順位を落としてしまう結果となってしまった。前半から苦しい走りをしてしまい、後半の傾斜がきついところで我慢ができなかった。襷はいい位置では渡せたが、個人の結果には満足していない。今後に生かし、来年の箱根を目指してこの1年を頑張りたい。

■7区・室井勇吾（経営3）

9年間の陸上人生で一番の目標だった箱根駅伝に出場することができてうれしかった。区間6位で想像以上にいい走りができたと思っている。シード権の獲得でチームの目標が達成できたことが、とてもうれしい。来年もシード権を獲得できるよう一から自分を見つめ直して頑張っていきたい。

■8区・黒川遼（経営4）

最後の箱根駅伝は遊行寺の坂が予想以上のきつさで苦しいレースになり、個人としては微妙な結果だった。この1年間は去年より成績を残せず、試練の年だったのでこれが実力だったかもしれない。だが、みんなの頑張りで7位、シード権を取り戻すことができた。たくさんの応援ありがとうございました。

■9区・菅真大（経営1）

9区を任されたことにとても大きなプレッシャーを感じながらレースに臨んだ。櫛部監督から「前を追って行こう」との言葉を掛けていただいていたので、前半から積極的に走れた。後半に課題が残った。寺田さんに流れを止めずにつなぐことができて良かった。来年はしっかりと練習を積んで同区間でリベンジをしたい。

■10区・寺田博英（経営4）

総合7位、シード権獲得は本当にうれしい。紘太頼みのチームだったことはいなめないが、復路でも7位に入ることができた。少しは見返せた気がする。区間賞は正直かなり驚いている。いい流れの中で走り出すことができ、チームの皆や応援してくださった方々の支えで区間賞を取ることができたのだと思う。いいとこ取りさせてもらい、ありがとうございました。後輩たちに何か残すことはできたと思う。後輩たち頑張れ！

▲5区の菊地

村山 紘太主将（経営4・2区）
1年の努力が結果に

2日間、寒い中、応援ありがとうございました。この2年間は、シード権を逃したり、途中棄権があったりと苦い経験をしてきました。主将を任され、どうチームと大学に貢献できるかをずっと考えてきた結果、やっぱり結果を出していくしかないと思ってこの1年間やってきました。こうしてシード権を取ることができたのも皆さまの応援のおかげだと思っています。これからも城西大学の応援よろしくお願いします。城西大学バンザイ！

（報告会から）

選手の健闘をたたえる水田理事長

水田宗子理事長あいさつ（報告会から）
創立50周年の年に励み

毎年、坂戸だけでなく東金からの方々や卒業生ら多くの皆さまが、こうして応援してくださっている。そのことの連続の上に良い成績が出せる年があるのだと思っています。今年は城西大学の創立50周年です。チームの活躍は私どもにとって大きな励みになりました。特に最後に（寺田選手が）頑張って抜いてくれたこと。これこそが城西がこれまでにためてきた力だろうと思うとうれしくなりました。村山君の走りを私たちは涙を流しながら見ていましたけれど、本当に頑張ってくれてありがとうございました。櫛部監督もご苦労様でした。皆が心を一つにして50周年を迎える良いきっかけをつくってくれたと思います。

白幡晶・男子駅伝部部長のあいさつ（報告会から）
苦しみ越えて喜びへ

昨年、一昨年とご期待に添えないような結果で、選手、監督とも苦しい状態で過ごしていたと推察します。その結果が一つの形として出たということで本当に良かったと思っています。今年は50周年ということで、大学にとっても大きな意味のある結果を出してくれて、本当にありがとうと言いたいと思います。来年、再来年とこの力を継続したいと思いますので、応援よろしくお願いします。

▲▶（左から）3区横田、7区室井、8区黒川
＝吉田美咲撮影

写真：陸上競技社提供

櫛部静二監督インタビュー

“前半型”で勝負　充実の内容に

―今回のオーダーの狙いは。

全日本大学駅伝では前半型のオーダーで組み、後半失速したものの5区までは流れに乗ることができたモデルをベースに、今回の箱根駅伝も前半型で組んだ。1区にはチーム内で一番成長著しい松村陣之助、2区にはエースの村山紘太、5区は上りも下りも強い菊地聡之を配置し、チームの柱とした。復路は6区をスピードのある西岡喬介、アンカー勝負になっても実力のある寺田博英を配置した。

―直前で痛みを訴えたり、調子を落としたりした選手がいたと聞く。

大みそかになって村山紘太の足の痛みが深刻な状態にあると判明した。医師による治療を受けての出走となったが、よく走ってくれた。

―城西大歴代最高記録で7位の結果について。

目標は最低10位以内、5位以上を掲げていた。残念ながら5位以上の成績は達成できなかったが、総合タイムの更新や10区では寺田博英が区間賞を獲得するなど充実した内容だったと思う。

―この1年を振り返って。

能力の高い4年生がそろっていたが、個人としてもチームとしても伸び悩んだ1年だったと思う。しかし、トレーニングを信じて、自分を信じて、そしてチームメイトを信じて箱根駅伝に挑んだことが今回の結果につながったと思う。精神的に強くなったと感じている。

―箱根はますます高速化の時代になっている。来年に向けての強化策は。

心身ともにまだまだやることはたくさんあると思う。2年生が成長著しく強くなってきている。また、新入生も加わるので、さらにチーム内での競争を高めていきたい。

富士山女子駅伝
11位 入賞逃す

昨年12月23日、静岡県の富士山のふもとを舞台に全日本大学女子選抜駅伝競走（富士山女子駅伝）が開催された。7区間43・4㌔。城西大学は昨年8位に入賞しており、2年連続の入賞が期待された。

1区は今シーズン急成長を見せた福居紗希（現代政策1）。ラスト700㍍まで先頭集団に食らいつき、トップと13秒差の6位で襷リレー。上々のスタートを切る。2区の岸田美香（現代政策3）は順位をキープしたが、3区・池神悠希（経営3）、4区・中山成美（現代政策3）が区間12位、15位と力を出し切れず順位を14位まで落とした。

しかし、5区の田島美加（経営3）、6区の牧野夏奈（現代政策1）がそれぞれ順位を一つずつ上げて12位で7区へとつなぐ。最終区間は昨年に引き続き和田春香（経営2）が任された。7区は高低差166㍍を一気に駆け上がる、女子選手にとってはハードなコースとなっているが、和田は順位を一つ上げて11位でフィニッシュした。

2年連続の入賞は果たせなかったが、主将の茂木美優（薬学3）は「走ってくれた選手は皆、必死で走り切り、今ある力を出しきってくれた」と大会を振り返り、来シーズンに向けては「監督、部員をはじめ、女子駅伝部にかかわる全ての方々と一緒に強い駅伝部を作りたい。全日本大学女子駅伝で入賞、シード権を獲得できるチームになるよう頑張りたい」と再起を誓った。【知見寺美紀】

記者募集　連絡はこちらまで j-sports@josai.ac.jp

記事を書いてみませんか。初心者でも大丈夫です。新聞記者経験がある職員が取材･書き方を基本から指導します。留学生も「学生記者」として活躍しています。興味がある学生、やる気がある学生、大歓迎です。写真、イラスト、漫画などでも協力してくれる学生もぜひ参加してください。

取材スタッフ

編集長 経営学部４年 知見寺美紀
経営学部４年 佐久間峻
経営学部４年 市澤隆希
現代政策学部４年 鎌倉恵美
薬学部４年 斎藤明彦
薬学部４年 小峯大輝
経営学部４年 関原彩賀
経営学部４年 中村亮介
経営学部３年 吉田美咲
経営学部３年 佐川由紀
薬学部２年 巻幡仁美
薬学部２年 松岡遊史
薬学部２年 西村健太郎
経営学部１年 岩内菜緒
薬学部１年 本間智久

アドバイザー

2013年度卒業 久村洋介
伊藤香澄
中里絵美

Jスポ フェイスブック はこちら ▶ http://www.facebook.com/JOSAISPORTS